



JAPAN HANGGLIDING FEDERATION

# JHFレポート

9・10月号  
2003年

(社)日本ハンググライディング連盟 発行

<http://jhf.skysports.or.jp/>



## PG世界選手権、川地選手3位入賞の快挙。

7月11日から27日までポルトガル・モンテレグレで開催されたパラグライディング世界選手権で、日本チームは国別成績4位。個人総合では川地正孝選手が3位、扇澤郁選手が4位に入賞し、大健闘！ 世界選手権直前に同地で行われたノルディック・オープンでも長島信一選手が優勝、パワー全開の日本チームでした。「パラの選手に負けない頑張り」と、7月末にブラジルに乗り込んだハンググライディングの日本チームは、現在ブラジルアでのクラス1世界選手権(8月30日まで)で奮闘中。地球の裏側に声援を。

PG世界選手権のオフィシャルページ <http://www.fpv1.pt/WPChampionship2003/>

HG世界選手権のオフィシャルページ [http://www.brasilia2003.com/main\\_us.htm](http://www.brasilia2003.com/main_us.htm)

写真1:みごと3位入賞の川地選手と4位の扇澤選手(右)

写真2:ハングエイド2003主催の壮行会に顔を揃えたハンググライディング日本チーム。



## 須藤彰さん、モーターPG日本記録更新へ。

8月4日、JHF補助動力委員会の委員をつとめる須藤彰さんが、モーターパラグライダーの無着陸直線飛行日本記録更新に挑戦しました。(財)日本航空協会の公式立会人の立ち会いの下、愛媛県重信町の河川敷から徳島県鳴門市まで168.46km飛んで、記録更新に成功。近日、日本記録として正式に認定されるみこみです。

## この秋、三つの日本選手権を開催。

旧盆が過ぎ、標高の高いところでは涼しい風が吹き始めました。この秋、JHFは三つの日本選手権を開催します。まず、9月18日～23日に長野県白馬村スカイステージアルプ(八方尾根スキー場)で「2003年パラグライディング日本選手権 in 白馬」を。9月19日～23日には茨城県八郷町エアパークCooで「リジットハンググライダー日本選手権 in Ibaraki 2003(初めてのクラス5日本選手権)」を。そして、10月12日～18日に茨城県八郷町足尾山エリアで「ハンググライディング日本選手権 in Ashio」を開催。ぜひ観戦にお出かけを。各連絡先は14ページ「カレンダー」を参照。

写真3:クラス5(リジット機)初代日本選手権者になるのは誰?(パイロット:古坂学俊さん)



## 6月通常総会・役員選挙終了。新役員が就任。

6月21日(土)午後1時より5時まで、東京都港区新橋の航空会館においてJHF6月通常総会を開きました。全議案が可決承認され、追加の役員選挙も滞りなく終了。選挙(信任投票)の結果、立候補者全員が選任され、新理事の下村孝一氏、新監事の對馬和也氏、宮川雅博氏(再任)はさっそく活動を開始しました。三人の活躍にご期待を。

写真4:「サラリーマン正会員」の要望にこたえ週末開催になった6月通常総会。



JHFレポートは、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

JHFレポート 9・10月号

もくじ

P2-パラグライディング世界選手権報告 P5-ココが知りたい!パイロットのためのトレーニングPG編 P8-6月総会報告/理事会の決定 P9-よりよい組織をめざして[理事に聞く] 朝日 和博/新理事・監事が就任 P10-県連だより P11-県連ニュース P12-委員会の動き P13-@sky

# 日本選手、表彰台に!!



2003パラグライディング世界選手権ポルトガル大会報告 チームリーダー 半谷 貞夫

## 選手の体調管理から

第8回目のパラグライディング世界選手権の開催地はポルトガル北西部にあり、スペインとの国境近く。モンテレグレの町は、静かな町です。町の北西のはずれにひとつ山があり、そこがテイクオフとなる会場。今年のヨーロッパは異常気象で、とにかく毎日暑い日が続きました。

今回、日本チームの大半は7月6日に現地入りして、現地で行われていた「ノルディックオープン」に自主参加、それぞれ大会に目標をあわせて最終調整をしました。その大会において長島選手が優勝するなど、選手の調整とエリアの把握はかなりできたと思います。

チームリーダーとしては、日本チームの目標は3位入賞に照準をあわせていましたから、すでにヨーロッパに6月から滞在している選手達の体調を最高の状態

に持っていくことが大会前の課題でした。そのために、選手全員とサポートスタッフが一緒に泊まれるアパートを確保、キッチンで毎日日本食を作って選手に満足するまで食べてもらいました。いくら今回の選手達が海外の経験が長いとはいえ、毎日朝から夜までパン食では意気も消沈してしまうでしょう。お米はおいしいスペインのお米を用意し、調味料などは手分けして日本から持ち込み、時には寿司パーティや豚カツ、カレーなど、とにかく皆が食べたいと思うものを準備しました。その甲斐あってか、選手達は最後まで頑張ることができたと思います。

## 残念なタスク設定

今回、最終的には川地選手が3位、扇澤選手が4位、日本チーム4位と今までの世界選手権で最高の結果を出すことができましたが、私としては、もっと上位に行くことができたと思います。

とにかく、今回の世界選手権の一番大

きい問題は、ポルトガルのオーガナイザーに競技大会運営の経験がなく、その日のコンディションに合わせた良いタスクを組むことができなかったことです。このことは、各国の選手の大きな不満になりましたし、少なくともキャンセルになった最初の2日間はタスクを組むことができた良い条件の日だったのが残念です。

良い大会というのは、オーガナイザーがそのエリアのコンディションを正確に把握し、その日の条件にあった、また、選手の能力を最大限に引き出せるタスクを組むことができるかどうかで決まるのです。この点は非常に残念な結果になりました。日本チームも、また他のチームもそうですが、オーガナイザーの組むちぐはぐなタスクに、まったく調子を狂わせられたと言えます。

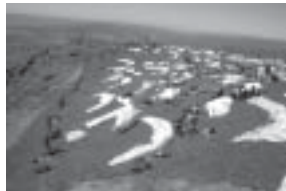
日本チームとして良かったのは、タスクの半分を過ぎてから、やっとチーム戦として作戦どおりの動きを選手ができるようになり、各自の役割を果たすことが



大健闘の日本チーム(川地選手撮影?)



競技前にチームの作戦を立てる。



モンテレグレの南テイクオフサイト。



テイクオフする只野選手。

できたことです。

具体的には、大きな失敗を1本して上位へ再度食い込んでいくことが難しい辻選手を、上位が入っている先頭集団でフライトさせ、その情報を常に他の3人の選手に伝え、スピードと確実性を持った飛びをすることができるようにしたことです。チームワークの取れた素晴らしい戦いがこの作戦で可能になりました。そのおかげで、川地選手と扇澤選手が入賞することができたと言えます。私としては、あと2本タスクができていたならば、もっと上位へ食い込むことができたと思います。

## 次の大きな目標へ

ワールドカップが毎年開催され、オーガナイザーのレベルも上がり、本当に良いタスクを組むことができるように昨今はなりました。それと共に、常にトップで戦う選手達のスピードの向上には眼をみはるものがあります。もし、日本人選手の優勝を世界選手権で望むとすれば、今のままでは難しいでしょう。強い精神力だけではなく、常にトップのレベルの選手と戦う必要があり、ワールドカップに出ているだけでは足りません。また、日本で開催する大会も、目標を選手の技術レベル向上に合わせてタスクを組めるようにする必要もあるでしょう。こうなると、競技会を開催する主催者自身の意識の持ち方と勉強も必要になってきます。今回の世界選手権でも日本は注目されていました。この勢いを続けていくことで、次の大きな目標に近づいていくことができればと思います。

今回の結果については、選手達全員のチームワークで勝ち取ったものだと思いますので、その意味において満足ですが、日本チームの入賞を逃したことは非常に残念です。

これからの新しい世代の選手が次々に現れて、さらに大きな目標に向かってくれることを期待します。

皆様の応援、ありがとうございました。そして、日本チームを陰で支えてくれたスタッフの皆様、この場を借りて心よりお礼申し上げます。



扇澤 郁

今回の世界選手権の国別対抗の戦いでは、若手が中心のスイス、ドイツ、強豪ぞろいのオーストリア、前回3位のイタリアに常連のフランス、そしてわれわれ日本がどこまで食い込むかが焦点となりました。

タスク1ではドイツがトップ10に3名選手を揃え優位に立ち、スイス、フランスがその後に続きました。日本は出遅れ、8位の成績からの苦しいスタートとなりました。表彰台に食い込むにはトップ10に2名、トップ20に1名の選手が必要と思われました。

タスク2でも1名はトップ10に入りますが、その後が続かず、順位をキープするのが精一杯の戦いを強いられました。

タスク3は、フランスがトップに踊り出る波瀾のタスクで、若手のドイツに不安定な様子が見受けられました。

タスク4では順当なところが勝ち残り、変化はあまり見られませんでした。

勝負どころのタスク5は、ショートタスクのスピードラン。スイスが起死回生の逆転劇を演じ、他の国を大きくリードしました。日本はこのタスクでも調子が出ず国別6位と、残された日程を思い切った勝負に出るしかなくなりました。

最終タスクとなってしまったタスク6で、やっと本来の日本のチームワークが効を奏し、GAPシステムを熟知していたオーストリア、日本が順位を上げました。オーストリアが2位、日本が4位まで順位を上げ混戦模様となったところで試合終

了。若手中心のドイツ、スイスが不安定な成績だっただけに、まともなタスクをあと2本やっていたらと残念です。



川地 正孝

一日、一日が緊張の連続で長く感じられましたが、でも、アツという間のできごとでした。終わってみれば総合3位という信じられない成績になっていました。この成績は、素晴らしい環境と力強いアシストをしてくれたサポートスタッフの方々、心強い声援と支援をいただいた日本のサポーターの方々、そして、私の力の原動力となった家族の支えがあってこそ成し得ることができたのだと思います。ありがとうございました。



只野 正一郎

今回のレース展開は、スプリントが大半だった。

ゴール手前、約15kmほどのところまで30機以上の集団がいて、ある高度から一気にファイナルグライドに入る。とにかくアクセルを踏みちぎることで上位に入ることができる。ある日は、スピードラン形式でゲートオープンから2時間以上も待ってから、強い追い風に乗ってゴールへ向かうタスクもあった。

自分の展開としてはミスが多かった。勝ちたい気持ちでやったのに空振りで終



8年ぶり出場の長島選手。



ティクオフを待つ水沼選手。



GAPシステムを熟知する日本チームは鮮やかな追い上げを。

わってしまった。多くの人にご支援いただいたのに、期待に応えられず申し訳なく思っています。ごめんなさい!! 次こそ!と思いつづけて7年経ちましたが、次の機会まで精進していこうと思っています。



辻 強

今回の世界選手権は、とても充実した日々を過ごせました。天候は最高とまでいかないまでも良く飛べたし、最高の環境でした。自分としても思いっきり飛べました。結果は自分にとってかなり不満です。次回、更なる努力をして日本代表選手として表彰台に立ちたいと思います。応援をしてくれた沢山のフライヤーのみなさん、本当にありがとうございました。



長島 信一

行って来ましたポルトガル、8年ぶりの世界選手権は、さすがに昔の顔ぶれは全くといっていいほどおりません。スポーツの世界では8年の歳月は大変長く、選手がコーチになっているのが普通ようです。

大会にのぞんでは、トップ集団に遅れないようについていければと考えていましたが、理想と現実とは常に違うもので、なんとか集団と一緒にファイナルグライドに入るまでは良いのですが、8~10km程をアクセル全開で突っ走ると、しっかりと差が出てくるのです。遅れは3~5分程度、点差は200点はつきます。この差が大きく響いてきました。2本目を過ぎる頃



炎天下のパイロットブリーフィングでタスクが発表される。

にはトップと300点は差ができ、挽回するにはスピードアップが必須なのですが、一朝一夕には上がるわけもなく、先行する機影を追うばかりでした。結局、6本とも最終スピードの違いが響き、満足する結果は得られませんでした。

今後の課題は、事前に機体を持ちこなし性能を100%出すべく練習を積み重ねることが重要と痛感しました。次回はみなさんの応援に応えるべく頑張ります。



水沼 典子

今回、日本人が表彰台に立ったこと、団体4位(上位と僅差で)と今までより順位が上がったこと、そしてその場面に自分

総合1~10位の選手たち。



ギャラリーの頭上にガグルができていく。

がいられたことはとても嬉しく、かつすごいことだ、と後から実感が湧いてきました。そして、フライトする事に集中させていただいたチームリーダーをはじめサポートの方々、応援してくれた皆様、この場を借りてお礼申し上げます。本当にどうもありがとうございました。

レース内容に関しては、年々スピードが上がってきており、やはり国際大会のレベルは高い、と実感しました。と同時に、さらに上を目指そうという思いが沸騰と湧いてきているところです。

総合・女子、ふたりのチャンピオン。



## 成績

### 国別順位

1位	スイス	12482点
2位	オーストリア	12135点
3位	ドイツ	12092点
4位	日本	11970点
5位	フランス	11923点
6位	イタリア	11821点
7位	ブラジル	11527点
8位	アメリカ	11475点
9位	韓国	11434点
10位	チェコ	11368点

### 総合順位

1位	HOFER, Alex	スイス	4232点
2位	BROWN, Frank	ブラジル	4137点
3位	川地 正孝	日本	4041点
4位	扇澤 郁	日本	4034点
5位	EICHHOLZER, Helmut	オーストリア	4007点
6位	MORGENTHALER, Stephan	スイス	3947点
15位	只野正一郎	日本	3762点
51位	長島 信一	日本	3320点
66位	辻 強	日本	3039点

90位 水沼 典子 日本 2627点

### 女子順位

1位	KRAUSOVA, Petra	チェコ	3720点
2位	NUSSBAUM, Nicole	スイス	3585点
3位	CRANDAL, Louise	デンマーク	3439点
4位	BUZZI FERRARIS, Silvia	イタリア	2998点
5位	RAUCHENBERGER, Elisabeth	スイス	2953点
6位	水沼 典子	日本	2627点

# ココが知りたい!

## パイロットのためのトレーニング [パラグライディング編-3]

矢田貝嘉宏、山下広輔、東野武史の3名からなる「ココが知りたい」隊のトレーニングは前号からずっと続いています。加賀山講師の「次回の発行日まで自主トレーニング!」という指示に従って、今まで延々とライズアップの練習をひたすら続けていたのであります。(なんてね)

### ライズアップの復習

**加賀山:**どもども、皆さんお久しぶりです。前回のライズアップの基本トレーニングから今まで、長い時間、自主トレーニングご苦労様でした。ちょっと見ただけでも見違えるように良くなっていますね。特にライズアップ前のキャノピーの状態を整えること、立つ位置と引き手の位置を調整するようになって、ライズアップで傾くミスが少なくなったのがよく判りますよね。

前号から今までトレーニングを続けていた皆さんと違って、久しぶりに会う読者の方には、もう一度ミスしないライズアップの基本を復習しておきましょうね。

キャノピーをきれいに開く(風がある場合にはリーディングエッジを地上で形成する)

真ん中に立ち、ラインの張り具合で「完全な」中心点を探す。(風がある場合には、風を受けたリーディングエッジが水平になる位置に立つ)

ブレーキをかけずに、まっすぐ引き上げる。

重要! 引きはじめでキャノピーが浮き上がった時に傾いている場合は、すぐにキャノピーを下ろし、もう一度やり直す。これらの基本に慣れ、キャノピーの動きを「よく見る」ことができれば、ライズアップのミスは少なくなると思いますよ。ライズアップが上手いかわからない人は、もう一度前回のJHFレポートをよく読んでトレーニングしてみましょう。

### テイクオフのテクニック

**加賀山:**さて、リバースライズアップで機体が傾かないようになれば、テイクオフの成功は約束されたようなモノですね。いかがですか?

**東野:**いやいや、それがですね、振り向いたら傾いていたり、機体が前に行き過ぎて潰れたりするんですよ。足が付いていかなかったのかねえ。

**矢田貝:**たまにある失敗で、テイクオフで逆に回っちゃう人とかいますよね。

**山下:**あと、飛び乗っちゃって尻持ちとか、ひどいときには飛び乗った後に急降下して木に突っ込んだりとかですね。

**加賀山:**まあ、それぞれがありがちなスタートミスですね。それぞれの状況に応じた解

説は後で説明するとして、テイクオフでミスする原因は何だと思いませんか?

一同:うーん、やっぱり練習不足だったりテクニック不足ということかなあ?

**加賀山:**間違いではないですが……。テイクオフのテクニックって何なのでしょうね。テイクオフを単純に言うと、前を向いて速度を徐々に上げていき、離陸速度になれば自然にテイクオフしていくということですよ。理屈ではすごくシンプルな行為なんです。

ここでいう離陸速度というのは、翼の揚力が飛行総重量と等しくなる速度ということで、その瞬間に地面から足が離れるわけです。風が吹いていて、斜度が充分にあるテイクオフでは、失速速度に近いスピード(対気速度で6m/s=約22km/h、そんなに速い速度ではないですね)で浮き上がるわけですが、理想を言えば低速の巡航速度である8m/s ぐらいはあったほうが良いのだね。

まあつまり、テイクオフのテクニックというのは単に「方向を保持したまま、離陸速度になるまで安定して加速すること」と極言できるわけです。

### 「テイクオフ」の基本概念

**加賀山:**それではまず最初に、ここで基本に戻ってテイクオフを考えてみましょう。「テイクオフ」は、そのものズバリ「離陸」ですね。離陸に必要なのは「方向」と「速度」ということになります。ところが、速度が上がる前に左右に傾いたり、翼が潰れたりするというミスが多いのは、それ以前の問題ということですね。つまり、ライズアップ以降、テイクオフ以前の問題ということになります。ついつい多くの人が「テイクオフ」という言葉に全てのイメージを込めて、「ライズアップ」の失敗も、「振り向き」の失敗も、さらに「頭上でのホールド」や「傾きの修正」ミスも、全て「テイクオフの失敗」と考えやすいですよ。言葉的に間違いとは言いませんが、頭の中で「テイクオフ=最後の加速と離陸」というふうを考えてみてください。そうすると、いろんなことが見えてくると思いますよ。例えば失敗の原因が何なのかとか、自主トレーニングを行う項目が明確になったり、離陸中止の判断が明確になったりということですね。

旅客機の離陸をちょっと考えてみましょう。お客様のシートベルトの締め忘れのチェックや、非常用装備の使用法や姿勢、脱出路の説明といった客室状態の確認、計器や燃料の確認、翼の作動確認、舵の作動確認、誘導路の確認、滑走路への進入確認、エンジンの出力確認、前方の確認などなど、マニュアルに従ったチェックの全てが終わって、そして「テイクオフのために全て整った」と

いうサインを出してから、やっとテイクオフのための加速を開始するわけです。何か一つでも問題があればパイロットはテイクオフ自体行わないでしょう。例えば、あなたが「絶対シートベルトを締めない!」と言い張るだけで、飛行機は離陸できなくなると思いますよ(叩き出されるか強制執行されてとんでもない目に遭うでしょうけど)。

自己判断を必要とされるパラグライダーパイロットのテイクオフも、本来は同様であるべきなんです。JHF教本のA・B級課程でも、簡単にですが、キャノピーの確認と修正、助走、加速、離陸というように分類されて、それぞれの行為を分けて考えるように説明していますよね。

### テイクオフのステップ

**加賀山:**今回トレーニングするテイクオフの段階をざっと次のように分けてみました。

リバースライズアップ(前号参照)

振り向き

頭上でのホールドと修正

加速のためのグランドハンドリング

テイクオフ決断

加速と離陸(テイクオフ)

前回のJHFレポートで取り上げたライズアップだけでも細かく分けていると考えることができたように、このテイクオフのステップのそれぞれにも、いろんな蘊蓄(うんちく)があるわけですけどね。今回は時間の都合で「この項目(これが「グランドハンドリング」という内容になるのですが)これについては細かく言わずに、まず、即効性の高い「この項目「テイクオフの決断と実行」をしっかりやりましょう。ただし、「テイクオフは最後の決断」という概念に沿って、

ライズアップに失敗したら中止

振り向きに失敗したら中止

頭上でのホールドと修正に失敗したら中止

加速のためのグランドハンドリングに失敗したら中止

という考え方でトレーニングしましょう。

### テイクオフ決断以前

**加賀山:**皆さん頭では判っているんだけど、いざ本番になると機体が傾いたまま走り出したり、テイクオフの横の林に向かって全力で走り続けたりという人がけっこう多いですよ。本人は「テイクオフ」しようと思死なわけです。つまり、ライズアップが終わった時には既にテイクオフを決断していて、途中のミスには目もくれず谷底へ向かって一直線!なわけです。

「テイクオフ」はあくまで「離陸」それ以前は準備動作だと割り切って、それぞれの状

況を確認しながら、全てがOKならば、テイクオフを決断して最終的に加速するようにしたいですね。では、どういう練習が必要かという、そのための練習がグランドハンドリングでの中止になるのです。

特にグランドハンドリングの練習では、ずーっと頭の上でキャノピーを維持したり、上手に修正したり、うまく振り向こうという練習に終始しがちですけど、本番のテイクオフで最も重要なのは「ミスしないこと」と「ミスを認識して中止すること」なんですね。逆説的ですけど、ミスを正しく認識できる目を養った人は、ミスが極端に少なくなるはずですよ。「なにが正常か」ということを認識できるわけですね。ですから、本日のグランドハンドリングでは、極力自分の目と判断で意識的に「ミス」を見つけて中止する事に重点を置いてください。「傾いたら修正」ではなく、「傾いたら中止」したり、「傾きそうだからその前に中止」というふうに分のミスをなるべく早期に見つけて上手に中止するトレーニングをたくさんやりましょう。

上手に中止するコツはあんまり走らないこと、キャノピーをきれいに下ろすことですね。

### テイクオフ決断

**加賀山:**全てが上手く行き、正面に向いてキャノピーが安定していることを最終的に確認できたら、テイクオフを決断します。次は加速ですね。ここで言うキャノピーの確認は、「立ち上がったキャノピーの状態を確認すること」というよりは、「それ以前にミスが確認されず、全て上手く行っている状態」ということですよ。これが安全のためのポイントです。

ちょっと難しいことですけど、「スタチン」というアクシデントに遭遇した人は、スタチンする以前の全ての状況においてスタチンを回避する行動を起こしていれば、スタチンにならなかった。(かもしれない)というのが事故に対する考え方です。最後の決断や最後の操作ミスに全てが集約されているわけではないんですね。

### テイクオフの加速は低く構える

**加賀山:**さて、全てが上手く運んだら、ココからがテイクオフです。「飛び乗り」前かぶり、「抑えすぎ」いろいろ問題を抱えている人が多いですが「ココが知りたい！」隊の皆さんはいかがですか？

しっかり機体を安定させてテイクオフを行うためのポイントは、ズバリ、加速にあるわけですが、この加速というのは、翼にスピードを与えることで、パイロットがただ前に走れば良いというわけではないんですね。

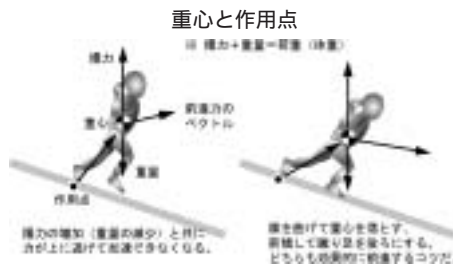
滑空機であるパラグライダーの速度は荷重と大きな相関関係があります。重くすれば速くなり、軽くすれば遅くなるわけです。ですから、テイクオフでの加速は、「グライダーに掛ける荷重を増やしていく」ということなのですね。

テイクオフで「前傾姿勢」と言われるの

は、走りやすい姿勢というだけでなく、キャノピーに荷重をかけやすい姿勢でもあるのです。もう一つ大切なことは、ある程度速度がついて、揚力が大きくなった(荷重がかかった)時に体が起きていて、地面に対する重さがその分翼に奪われているので、摩擦が得られずに前へ進めなくなることなんです。人が前進するためには地面をしっかりと後ろへ蹴り出すことが必要なのですが、足を後ろへ蹴り出すためには前傾していなければならぬのです。また、しっかりと地面を蹴るためには、膝をしっかりと曲げ、意識して重心を低く構えることも大切です。揚力によって身体を上へ引っ張られていると、単純に駆け足をして加速できないんですね。しっかりと曲げた膝を後ろに蹴り出すようにしないと、ある程度揚力がついた状態から更に加速することはできません。



写真1 走り始めはフロントのベルトを胸で押さえ込むようにし、腰を落として膝を曲げる。膝を曲げていないと、斜面で身体を前下方向に蹴り出すことはできない。



人が地面を蹴って前に進むとき、重心は「おへそ」の辺り、作用点は地面と足の接点という事になります。地面を足でしっかり蹴って、重心を前に運ぶということですね。加速してパラグライダーの揚力が増加すると、地面に作用する重さが減少することになるので、しっかりと前に進むためには、重心位置を下げて、足で前に押し出すようにすることが効果的なのです。特に斜面では重心を低くすることで前に蹴り出しやすくなりますね。

### テイクオフは飛び出す角度が重要

**加賀山:**テイクオフの瞬間を意識しすぎると、「地面から飛び出す」とか、「浮き上がる」「パラグライダーに乗る」という感覚になりやすいんですね。よくテイクオフで「飛び乗り！」と言われる人のテイクオフがコレです。今までの説明で、加速は荷重を増やすこと、そしてテイクオフは揚力と荷重が等しくなることというのがイメージできれば、「絶対に上に飛び跳ねてはダメ！」ということが判ると思います。足が地面についているということは、まだ揚力(速度)が不足

しているわけです。この場合に必要なことは、さらに荷重をかける(加速する)ことなんです。離陸前にパイロットが身体を起こしたり、上に飛び跳ねることは一瞬にして荷重を抜くことになるのです。突然荷重が抜けるのでキャノピーはピッチアップして減速、その後パイロットの重さがズドン!と掛かるので、急降下ということになるわけです。最後まで前傾姿勢を維持することが荷重を抜かないことなんです。

パラグライダーのテイクオフは、斜面に沿って滑り出すように出て行くのが理想ですが、上手いかわらない人は下に向かって飛び込み続けるつもりで、前に前に飛び出すようにしてみましょう。

### キャノピーの前潰れ(オーバーシュート)

**加賀山:**前説明が長かったですけど「ココが知りたい！」隊の皆さん、イメージはつかめましたか？

**東野:**よく言われていることですけど、前傾姿勢で走り続けることが大切なのはよく判りました。でも、前屈みになったときにキャノピーが潰れて、そのまま顔から下に突っ込むと危ないですね。

**加賀山:**そうですね、よくテイクオフでパラグライダーが前潰れして前につんのめる人がいますからね。あんまり顔を下に突き出さないようにしましょう。低く構えるのに重要なのは膝をしっかりと曲げて重心を下げることで、上体が足より前にあることです。顔を伏せて前屈することではないということを意識しておきましょう。重心を低くすることには、転んだときにダメージが少ないというメリットもあるんですね。万一、先行したキャノピーに足がついていかないときには、そのまま腰を落としていって横滑りしていくという技もあるんです。斜面でキャノピーの揚力無しに転ぶと非常に危ないですから、いざというときの転び方も地上で練習しておくといいでしょうね。

さて、前潰れするというのは、ライザーにかかる荷重が抜けて起こることなんです。荷重がかかっているときというのは、迎え角が適切で揚力を発生しているときなので、キャノピーは上に上に行こうとしていますから前潰れしないんですね。キャノピーが先行しすぎたり、巻き込んだ風が上から吹いたりして、迎え角が揚力を生まなくなるまで下がったときに前から潰れるわけです。テイクオフの決断を行い、加速を開始したときでも、胸で押さえ込んだベルトにかかる荷重(テンション)を意識して、荷重の抜けに注意しておきましょう。もちろんキャノピーの先行などの不都合があるときは、テイクオフを中止することを意識しておきましょうね。

さあ、それではみんなでテイクオフまでの一連の操作を実地トレーニングしていきましょう。自分の操作とキャノピーの動きをよく見て、「一連の動きのそれぞれが上手くいっていること」を確認しながらというのが自主練習のポイントです。「中止すべきポイントの発見」という、いつもと違う観点でトレーニングをしてみてください。

## ちょっとグラハンのポイントチェック

### 振り向くときに傾く

東野さんの最初の質問にあった「振り向き」ですが、頭上にあるキャノピーに対して、左右の操作をせずに真下にいれば傾くことはないはず。キャノピーにとってはパイロットが後ろ向きだろうが前を向いていようがあまり関係ないんですね。大切なのは左右がずれないように一定のペースでまっすぐ風に向かって進み続けることです。

失敗例でよくあるのが、振り向くときに片足を軸にして身体を180度回す「ピボットターン」。これだと、振り向く間、前進が止まって、さらに身体を中心軸が一步横にずれて、傾いてしまいます。

振り向くときのコツは、リバースの状態で行ってきた歩幅とペースを保ったままで90度横向きで一步、次の一步を前向きに踏み出すこと。「2歩で前を向く」がポイントです。ステップは直線上にまっすぐになるように歩いてみてください。

もう一つ傾く原因で多いのが、振り向く時に手の位置がそのままになっている場合。例えば両手を肩の前の位置で右回りに振り向くと、右手はライザーから離れて、左手はライザーに近づいていきますよね。つまり、手の高さをそのままで右に回ると「右を引いて左を緩める操作」をすることになり、右に傾きます。振り向くときにブレークの引き量を一定に保つように意識して、右回りの時は右手を少し上上げる(左手

は少し下がる)ように振り向くといい感じになります。試してみてくださいね。

### 反対に回っちゃう

矢田貝さんから出た、反対に回っちゃう人。結構います。だけどそのまま何とかしようとして飛んでっちゃう人もいますよね。そんな人に「中止しなさい!!」って声を大にして言いたいですね。

多くの人が自分の回る方向を決めていますよね。んで、どっちのライザーが上に来るかをリバースで準備したときに確認するわけですけど、セッティングした時に「右が上なら右回り、左が上なら左回り」という呪文(確認)を声に出してするようにすると良いですね。テイクオフでサポートする場合も、飛び出す人のライザーを見て、この呪文を唱えながらサポートする(立つ)位置を決め

ると良いですね。風が強いときのサポートは前側、前潰れしやすい人は後ろ側でブレークコードのサポート、という感じで、予め回る方向を意識してあげましょう。

### 飛び乗り

飛び乗り気味の人、これはもう半分癖になっちゃってますね。大切なのはしっかり胸ベルトの部分で機体に体重を預けること。最初から身体が起きていたり、飛び立つ前に身体を起こすことで、「テイクオフのタイミング」を錯覚しているわけです。テイクオフのタイミングというのは浮き上がった後で判ることなのです。つまり、「もう浮いている」という状態になるまで荷重を抜いてはダメなんですね。斜面の低い位置で繰り返しトレーニングしてコツをつかみましょう。



写真2～4 振り向きトレーニング: タオルの真ん中を誰かに頭の高さで持ってもらい、両端をつかんで振り向いてみよう。回る方向の手が頭の上を越えるように振り向けばOK。

### カガヤンの模範演技



写真5～8 立ち上げから降り向きまで。それぞれの状態で上手くいっていることを認識しながら行おう。ミスが認められたら中止することが大切。僕の場合は振り向くときに(写真7)腰を中心に回り、手の位置はライザーに添えられているので、右回りだが、右手は上がらない。



写真9～12 テイクオフの決断から加速、テイクオフまで。膝をしっかり曲げて重心を下げることを意識して行おう。蹴り足はなるべく後ろにもっていく。テイクオフの瞬間は、写真だと一見上に向かって跳んでいるように見えるが、実際には強く前下に上体から飛び込むようにしている。身体が浮きそうなどころから更に加速して安定滑空までもっていく方法だ。



写真13 テイクオフ後も上体を起こしておくことは重要。足を前に蹴り上げるようなテイクオフは実は加速とは関係のない行為だ。しっかりと最後まで荷重をかけ続けられれば、踏み切った後も上体は前に残るはず。ブレークコードを持つ手を少し後ろにしておくことも荷重をかけ続けるコツだ。皆さんも頑張ってミスの無い(ミスを発見し中止できる)テイクオフをトレーニングしてみよう。

### 加賀山 務 (かがやま つとむ)

1965年山口県、巖流島の隣島で生まれる。幼少の頃からパイロットに憧れ、いつか空を飛んで本州に渡る日を夢見る。大学生の時にハンググライディングを始め、スカイスポーツの魅力に取り憑かれる。卒業後ハンググライダーメーカーに勤務。パラグライディングが日本で始まった頃からインストラクターとして活躍し、国内外の競技会にも参加。今年、長年勤めたメーカーを退社し、パラグライダー輸入販売等の事業を立ち上げた。

# JHF予算の違いみち

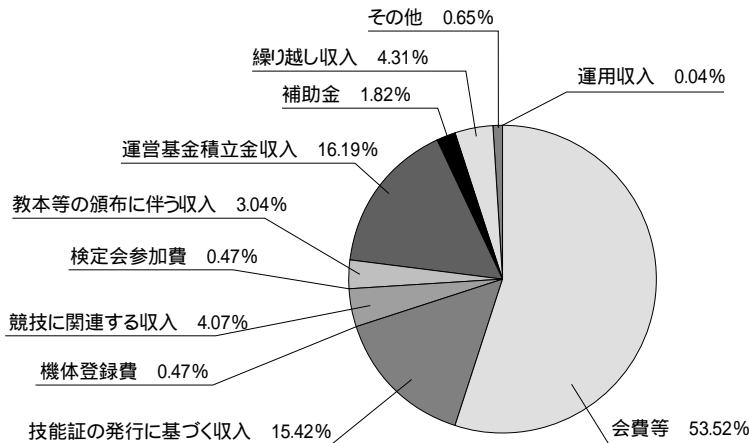
## 2003年度補正予算のうちわけは？

6月21日のJHF6月通常総会で2003年度補正予算が承認されました。JHFの主な収入は、フライヤー登録会費や技能証

の申請料です。このレポートを読んでいるフライヤー全員が連盟の「スポンサー」というわけですから、今年度のJHFはお

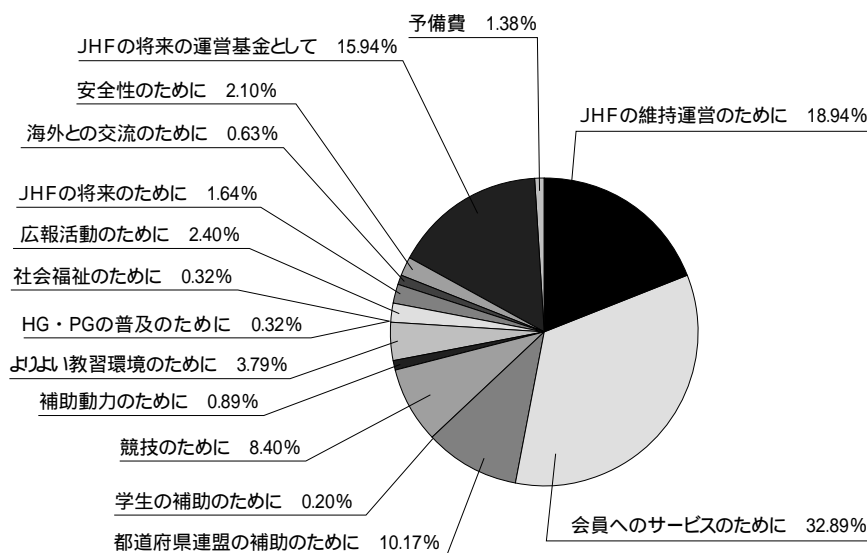
金をどのように遣っているのか、見てみましょう。(詳細はJHFホームページをご覧ください。)

### 収入の割合



運用収入	¥50,000
会費等	¥67,790,000
技能証の発行に基づく収入	¥19,533,000
機体登録費	¥600,000
競技に関連する収入	¥5,150,000
検定会参加費	¥600,000
教本等の頒布に伴う収入	¥3,850,000
運営基金積立金収入	¥20,503,000
補助金	¥2,300,000
繰り越し収入	¥5,456,114
その他	¥820,000
合計	¥126,652,114

### 支出の割合



JHFの維持運営のために	¥23,988,000
会員へのサービスのために	¥41,650,000
都道府県連盟の補助のために	¥12,878,000
学生の補助のために	¥250,000
競技のために	¥10,635,000
補助動力のために	¥1,130,000
よりよい教習環境のために	¥4,803,000
ハング・パラグライディングの普及のために	¥400,000
社会福祉のために	¥400,000
広報活動のために	¥3,044,000
JHFの将来のために	¥2,080,000
海外との交流のために	¥800,000
安全性のために	¥2,660,000
JHFの将来の運営基金として	¥20,188,000
予備費	¥1,746,114
合計	¥126,652,114

### 6月通常総会の報告

6月21日(土)午後1時から5時まで、東京都港区新橋の航空会館で6月通常総会を開催。正会員47名中35名が出席、7正会員から委任状が提出されました。議長には岩手県連盟の咲山弘氏が選任されました。

第1号議案:2002年度事業報告の承認について

瀬戸口副会長からの内容説明、質疑応答の後、2002年度事業報告について審議。賛成39票、反対0票、棄権1票で可決承認された。

第2号議案:2002年度決算報告の承認について

伊賀理事から説明、監査報告、質疑応答の後、採決。一部修正のうえ、賛成33票、反対

1票、棄権7票で可決承認された。

第3号議案:2003年度補正予算(案)の決定について

関谷常任理事から内容説明後に採決。賛成34票、反対2票、棄権5票で可決承認された。

第4号議案:理事の有給の決定について  
事務専従の理事を有給として配置承認を求める説明が朝日会長からされた後、採決。賛成35票、反対1票、棄権5票で可決承認された。

第5号議案:「JHF役員選挙規程」の一部改正の決定について

条文の「規程」を「規約」に改めることと、誤植を改めるために一部改正を行う旨、荒井理事から説明。JHF役員選挙規程は総会決議事項であることから、承認を求

めた。賛成41票、反対0票、棄権0票で可決承認された。

第6号議案:「JHF運営規約」の一部改正の決定について

「JHF運営規約」第7条に明記されている「役員選挙並びに選挙管理委員会に関する規程」は2002年6月14日JHF総会において廃止された。このことから、条文の一部改正を行う旨、宮田常任理事から説明、承認を求めた。賛成41票、反対0票、棄権0票で可決承認された。

第7号議案:役員選挙による選任について

2003年度の役員増員の選挙が行われた。有効票35票、以下の全員が選任された。  
理事 下村孝一氏 監事 對馬和也氏  
監事 宮川雅博氏



# よりよい組織をめざして

## 理事に聞く[1]

会長 朝日 和博



JHFの舵取り役である理事はどんな組織をめざして活動しているのだろう。今回から理事一人ひとりに聞いていきます。まずは、理事4期目、会長として2期目をつとめる朝日さんから。

朝日さんがめざす連盟像は？

フライヤーにもいろいろな立場の人がいて様々な意見を持っていますが、「空を飛ばしたい」という思いは一致しています。JHFを、互いに尊重しあって意見を述べるができる場にしたい、それが基本にあります。また、飛ぶ人の立場が社会から認めてもらえるよう、あるいはいろいろな協力を得られるように、よりきちんとした組織、さらに充実した活動にしていく必要があります。

何より大切なのは、安全です。フライヤー個人が安全飛行を心掛けるのはもちろんのこと、組織としてどうするか。事故が起きた場合、フライヤーの所属団体であるJHFが責任を問われることも考えられます。JHFとしては安全確立のため、とにかく最大限の努力をしていかなければなりません。安全でなければフライヤーもふえないでしょう。

今、よりよい組織のために何を？

この組織を構成する人たち、つまりフライヤー会員が誰でも意見を言えるような体制を、整えているところです。昨年度は、活性化対策委員会を年度限定で立ち上げ、フライヤーを代表する委員の皆さんに、JHFの問題点をピックアップしてもらいました。これらの問題点解消について、いま各委員会が具体的な検討をしています。

今年度は定款検討委員会が活動を開始しました。連盟の憲法とも言える定款について話し合い、正会員をはじめ、いろいろな方と相談しながら、より現実的な定款を考えていきます。

専従理事を置くのは？

皆さんに意見を出してもらっても、それをしっかり受け止めることができなければ意味がありません。そこで、連盟事務局に専従理事を置くことを総会に提案し、認められました。現在は関谷常任理事が毎日事務局にいて、連盟活動が滞りなく進行するよう管理し、また情報の収集・提供を積極的に行っています。これまでは連盟の骨組みはできていても隅々まで神経が届いていない状況でしたが、専従

理事のおかげで、いろいろな対応が素早くできるようになり、JHFは大きく変わり始めました。

この任期中、専従理事という「ツール」を大切に活用して、フライヤーの意見が確実に届くJHFにしたいと思っています。理事会では来年度の活動について検討中ですが、専従理事の存在がかなり積極的な活動に結びついていきそうです。

予算の遣い方については？

大幅に変えたいと、私は思います。会員のためにどんな事業が必要かを考え、限りある予算を全事業にまんべんなく出すのではなく、メリハリのある予算にしたいです。皆さんの会費を遣って予算をつけただけの効果が事業に見える、そんな予算案を作るため、これから理事会で話し合っていきます。

かつての理事会は目前の課題に追い掛けられてきましたが、現在「これからどうする」を話ることができるようになりました。これまでの積み重ねを基に、いろいろな方の協力を得て、JHFはさらに一歩前へ進むときが来たと思います。

## 新理事・監事が就任

JHF6月通常総会場で役員追加選挙を行い、正会員(都道府県連盟)の信任投票により立候補者全員、理事1名・監事2名が、新たに選任されました。

理事 下村 孝一



パラグライディング1日体験で、地上から足が離れた感動と興奮……。以来11年、寒い日も暑い日も週末はエリアで遊び、JHFの活動や組織とは縁の薄い一介のフライヤーでした。が、先輩に背中を押されて理事に立候補しました。

といひますのも日ごろから考えていた次のことを実現したかったからです。

- 1 新しい仲間を増やしたい。特に多くの若者の参入が欲しい。
- 2 スカイスポーツの魅力、多くの人に理解してもらいたい。知らせたい。
- 3 JHFがもっと身近な存在(会員から見ても)であって欲しい。

先日、理事会に初めて出席しました。朝日会長はじめ先輩各位の真摯な討議に、

JHFの未来は明るいと感じました。私ものり込んだスポーツの普及活動に、自分を使って頂ける幸せに感謝し、微力を尽します。会員の皆さまの応援をお願い申し上げます。

監事 對馬 和也



橋から下を見るのも嫌いな高度恐怖症ですが、NHK教育放送のパラグライダー番組を見て、夢であった空を飛ぶことに興味を持ち、憧れの吉永小百合さんが生命保険のCMでパラグライダーをしたとの記事を見て、彼女にできて私にできないはずはないと信州に通いはじめたのがこのスポーツとの馴初めです。

不注意と貧弱なスクールのブランコ型ハーネスのため、圧迫骨折により入院しましたが、なんとかパラを再開し、上越の空をブカブカ浮いています。

パラ・ハングほど自慢できる楽しいダイナミックな趣味はないでしょう。サンデーフライヤーが安全かつ快適に飛べる

環境整備に協力し、スカイスポーツ全体が発展できるJHFにすべく、公認会計士としての経験を活用できたら幸いです。

監事 宮川 雅博



監事不在という不測の事態に備えて立候補いたしましたところ、監事の定員を超えることなく再び就任することとなりました。

社団法人日本ハンググライディング連盟は、ハンググライダーやパラグライダーを日本国民に広めることを主目的としていますが、私たち会員がハング・パラを楽しむうえにおいて、社会の一員としての資質を高めることも目的の内にあると考えます。

甚だ非力であり、所信でも述べましたとおり連盟に貢献できる自信もございませんが、できる限りの努力をしてみたいです。

至らぬ点につきましては、皆様のご指導を賜りますよう、監事就任にあたりお願い申し上げます。

県  
連  
だ  
よ  
り



恒例の兵庫県スカイフェスティバル。毎年多数が参加する。

国体参加で市民権確立、地域振興の一助にも。

兵庫県フライヤー連盟

のじぎく兵庫国体  
2006年(平成18年)秋「第61回ののじぎく兵庫国体」にデモスポーツとしてパラグライディングが参加します。  
数年前に兵庫県体協より、参加意志があるかどうかアンケートがありました。兵庫県フライヤー連盟は参加意志ありと返事をしたのですが、実際にはどの市町もパラグライディングを取り上げてもらえなかったのです。第1次選考は終わり最終選考の3ヶ月前になって、兵庫県より「何故国体に参加しないのか？」とお話を頂きました。兵庫県は、県連盟が出来る前からパラグライディングに配慮をください、私たちも県の指導の元に兵庫県エリア協議会を組織して活動してきました。その実績からこの様なアドバイスをいただき、ご協力をいただいたと感謝しております。  
急遽、可能だと思われる町に話をしてお願した所、合併で2006年には八鹿市

となるにもかかわらず、関宮町が、鉢伏もあり東鉢伏もあることで名乗りをあげてくださいました。その直ぐ後に青垣町も手をあげてくださったのですが、先に快諾いただいた関宮町での実施を決定しました。

以上が、のじぎく兵庫国体にパラグライディングがデモスポーツとして参加することになった経緯です。2005年には岡山県でも国体にデモスポーツとして参加されます。2006年の兵庫県、2007年の秋田県、その次もその次も国体に参加出来るパラグライディングの組織を作ることが、一般の人々にスポーツとして認知していただくことにつながるのではないかと考えております。広く社会から認められるために、実績を積み上げていただきたいと都道府県連盟の方々に訴えたいと思います。

鉢伏では、関宮町が秋に開催している、兵庫県第一の氷の山、鉢伏山の登山大会と同時開催ということで、より沢山の一般の人々にアピールが出来るかと期待しております。町の振興のためにお役に立つことが、パラグライディングのスポーツとしての市民権を確立出来る機会ですので、JHFの会員は共に努力してゆきましょう。

兵庫県フライトエリア  
兵庫県の代表的エリア、青垣スカイスポーツエリア岩屋山を紹介します。  
京都府との県境の町、青垣町にあり、通年で飛べるハンググライディング・パラグライディング共用のエリアです。ここは青垣町及び住民の皆様の協力によって出来たエリアで「青垣町スカイスポーツ運営協議会」が管理しています。テイクオフ場までは車で15分程度。テイクオフからランディングまで4kmほどあります。テイクオフ場は標高650mで、北東、西、南の3方向にあるため、かなり自由なコース取りが可能です。3つのなかでも特に南テイクオフは、初心者にも出やすいところ です。

メインランディング場はテイクオフ場より北東の河川敷及び借用田で標高170mにあり、周りにこれといったプレッシャーがないため、比較的楽に降ろせるでしょう。

また、岩屋山から琵琶湖の付近までのクロスカントリー記録もあり、このような好立地条件の下、春・秋に「岩屋パラグライダーXCクラシック」が開催されております。

青垣町には他にもゆり山スカイパーク(標高256m、落差150m)があり、初心者向けの一日体験も行われており、上級者から初心者までが十分楽しめるのも岩屋山周辺の大きな魅力の一つです。

また、観光スポットでは高源寺(三丹随一のみじの名所)があり、あまご料理なども有名です。

兵庫県フライヤー連盟へのご連絡  
事務局  
TEL.0796-45-0598 FAX.0796-45-0598  
E-mail:hff@cronos.ocn.ne.jp



パラグライダー・ハンググライダーの体験会等で一般へのアピールも。

# 県連ニュース

## 青森県ハンググライディング連盟

[変わった大会?記録会?あるよ!]

パラグライディング・ハンググライディング 岩木山スカイマスターズ'03」で楽しく飛んで記録を残し賞金を貰おう!

期間中好きな時に来て、好きな時に飛んで賞品ゲット! もぎたて林檎・トウモロコシ等、地元特産品が山積みだぞ!

秋シーズン先取りキャンプやスクール合宿に如何ですか?

期日:9月20日(土)~23日(火)

場所:岩木山(青森県岩木町)

参加費:無料

ビジター料1,000円/日(通行料含)

募集人数:PG・HG、それぞれ先着40名

要綱・申込用紙:

<http://www.rnac.ne.jp/birdman>

[/page013.html](#)

[記:広報担当 古川正司]

## 埼玉県ハング・パラグライディング連盟

[2003年度新役員が決まりました]

5月18日に県連総会が開催され、新年度役員が決まり、続いて5月27日に第1回理事会が開かれ、2003年度事業方針及び各委員会の設置が決まりました。

理事長:渡辺竜幸

副理事長:細田亮三 坂井隆夫

事務局長:塩野富士雄

理事:長島信一 宮武正之 関光義 根岸勝世

監事:菊池大輔 立澤一男

委員会:規程改定委員会、検定講習委員会、大会実行委員会、安全性委員会、普及委員会、広報委員会

なお、事務局の住所、電話番号等の連絡先も変わりましたのでご注意ください。事務局:

〒351-0014 埼玉県朝霞市膝折町2-3-7

TEL&FAX.048-464-8763

## 神奈川県ハング・パラグライディング連盟

[PG体験会のスタッフ募集中!]

前号でお知らせのとおり当連盟では9月7日(日)10月5日(日)の両日、文部科学省・神奈川県主催、全国アウトドア・マリンスポーツフェスタのイベントとして、横浜市の「こどもの国」でパラグライダー



こどもの国で行った前回の体験会。笑顔がいっぱい。

体験会を行います。当日は多くの参加者が見込まれ、大勢のスタッフも必要です。この機会に一人でも多くの市民にスカイスポーツの楽しさに触れてもらえるよう皆様のご協力をお願いします。

開催時間:午前10時~午後3時

開催内容:立ち上げ、グランドハンドリング、シミュレーター 他

スタッフの技能証の有無及びレベルは問いません。お手伝いいただける方、9月7日の体験会は9月4日までに、10月5日の体験会は9月30日までに下記にご連絡ください。

県連事務局TEL.0460-3-5391

普及担当(荒井)TEL.090-3133-4886

[mkyf@pop21.odn.ne.jp](mailto:mkyf@pop21.odn.ne.jp)

[普及担当 荒井 稔]

## 石川県フライヤー連盟

[雨の日の獅子吼は仮装の準備]

7月に入って、獅子吼高原では週末になると雨等でフライトできない条件が続いています。今年の5月に獅子吼ランディング場にあった小山が撤去され、広くなった場所(100m×150m全部が使えるランディング場)に芝生の種が撒かれていましたが、梅雨の雨で大きく育ち、緑のじゅうたんの様になっています。

8月2日・3日のパラグライダーによる仮装フライトは、このランディング場と上空で行われます。雨でフライトできない時には、仮装フライトに出場する衣装や小道具の製作に各自専念していました。

昨年は仮装フライトのみでしたが、今年はターゲット大会も行われフライヤーの楽しみも増の2日間になりそうです。 [記:広報担当 倉 和彦]

## 静岡県フライヤー連盟

[恵まれたフライト環境の中で!]

静岡県フライヤー連盟(SFF)は、フライヤー会員と、賛助会員であるスクールやクラブの代表者により構成され、恵まれたフライト環境がさらに発展するよう社会的に活動しています。

県内を大きく四つに分けると、伊豆ブロック、朝霧ブロック、静岡ブロック、浜名湖ブロックになります。この4ブロックには複数のエリアやスクールがあり、恵まれたフライト環境の中でいくつもの大会が開催されています。当連盟では下記をSFF後援大会として認定し、県連事業の一環としてバックアップしていきますので、奮ってご参加ください。尚、7月19日・20日のF1浜名湖カップ(三ヶ日エリア/PG)、8月16日・17日の渥美半島縦断レース(高塚エリア/PG)も後援しました。

2003年11月8・9日

F1ファイナルin朝霧

(猪の頭エリア/PG)

2003年11月15日・16日

東伊豆PG大会(三筋山/PG)

2003年11月下旬

とんぼカップ(猪の頭エリア/PG)

2003年12月31日~2004年1月3日

西富士ジャパクラシック

(西富士/HG)

[記:事務局 中村成次]

## 三重県フライヤー連盟

[新役員が決まりました]

当連盟の2003年度役員が以下のとおり決まりました。

理事長:伊藤利夫

副理事長:行方惇郎

理事:河村博文 森川雅也 石田隆久

坪上晴彦 中谷収宏

監事:宇佐美嘉幸 大谷守

## 高知県ハング・パラグライディング連盟

[土佐市パラグライダー大会のご案内]

土佐市パラグライダー大会の日程が決まりました。詳細は県連ホームページに掲載しています。前夜祭からどうぞ!

<http://kochi-hpf.hp.infoseek.co.jp/>

開催日:8月31日(日)

予備日:9月7日(日)

前夜祭:8月30日(土)18:30~

場所:土佐市高岡エリア

参加費:3,000円

連絡先:県連理事長兼事務局 毛利謙作

Tel&Fax088-871-5502

[kensaku.mouri@nifty.ne.jp](mailto:kensaku.mouri@nifty.ne.jp)

[記:毛利謙作]

連絡先・ホームページURL等の変更

栃木県ハング・パラグライディング連盟

事務局変更 〒321-0942 栃木県宇都宮市

峰4-18-28 渡辺健一

TEL.028-662-5715 TEL.090-8809-4786

岐阜県フライヤー連盟

メールアドレス変更

[gifu\\_flyer@yahoo.co.jp](mailto:gifu_flyer@yahoo.co.jp)

URL変更

<http://members.tripod.co.jp/>

[gifu\\_flyer/index.htm](#)

島根県ハング・パラグライディング連盟

事務局住所変更 〒699-2305 島根県

週摩郡仁摩町大字天河内町721-1

仁摩中央新聞販売所(泉 諭)

TEL.0854-88-4314 FAX.0854-88-9333

岡山県ハンググライディング連盟

理事長改選 福田勝宣

メールアドレス変更

[office@okayama-jhf.org](mailto:office@okayama-jhf.org)

# 委員会の動き

## 安全性委員会

7月16日、委員会を開き以下を話し合いました。出席者は阿部、岡、下山、幸路各委員と関谷理事でした。

1. ドイツ語資料翻訳(JHSCセーフティーノーツ用)の扱いや支払いについて検討した。
2. 活性化対策委員会に対する回答は原案を岡委員が作成する。
3. 機体登録に関する意義について文章を作成し、JHFレポートに掲載すると同時に、各メーカーに対してアピールをする。
4. 日本選手権(PG、HG、リジットHG)に向けての機体登録受付は8月末までとし、9月10日以降は対応できない可能性がある旨知らせる。
5. 型式登録に必要な資料を整理して、関係業界に送る。
6. 王子ガ岳の事故に関する調査報告があった。
7. PG用車いすハーネスについての問い合わせがあり、資料を持ち寄って次回検討することとした。
8. 9月17日の定例会において機体のリサイクルについて、(株)テイジンの専門家による説明会がある。業界関係者に呼びかける。

[記:幸路尚文委員]

## 制度委員会

委員長1名、委員1名のさびしい委員会です。JHFの制度に関心があり、一肌脱ごうという方は、3名の空席がありますので、委員会に応募願います。

現在の活動としては、定款検討委員会のメンバーとして、今後のJHFにふさわしい定款を模索しております。詳しくは定款検討委員会の報告をご覧ください。

[記:小林秀彰委員長]

## 教習検定委員会

### 場周飛行経路による着陸進入

残念ながらまたハンググライダーとパラグライダーの空中衝突事故が発生してしまいました。詳細については明らかになっていませんが、着陸のための最終進入経路付近で両機の飛行経路が交錯する形になって衝突したようです。教習検定委員会では、ドイツへの視察調査の結果から、2年ほど前からハング・パラ共に場周飛行による着陸進入を提唱してきましたが、今回のような不幸な事故の再発を防止するため、着陸進入方法をルールとして確立できるよう、早急に必要作業を進めることにします。

事故撲滅のため、フライヤーの皆様の

ご協力をお願いします。

2003年度教員研修検定会の開催要領受験希望者のために受験対策や実施要綱の詳細説明を、JHFホームページで行うことにしました。受験予定の方はホームページの該当掲載記事を参考に、事前の対策学習や実技トレーニングを十分に行ってください。

[記:小野寺久憲委員長]

## ハンググライディング競技委員会

パラグライディング世界選手権での日本チームの活躍が記憶に新しいと思いますが、今はハンググライディングの世界選手権が8月16日～30日にブラジルで開催されています。ぜひ応援をお願いします。大会速報をホームページに掲載する予定ですが、掲載できない場合はオフィシャルホームページをご覧ください。  
[http://www.brasilia2003.com/main\\_us.htm](http://www.brasilia2003.com/main_us.htm)

今秋は二つのハンググライディング日本選手権があります。クラス1は茨城県八郷町足尾山エリアにて10月12日～18日開催の「2003HG日本選手権in Ashio」。

クラス5は茨城県八郷町エアパークCooで9月19日～23日開催の「リジットハンググライダー日本選手権 in Ibaraki 2003」です。結果は随時速報の形でホームページにて発表する予定なので、お楽しみに!

ハンググライディングシリーズは2003年からGPS判定になりました。これから参加予定の方は2003年ルールブックをよく読んでルールをご理解ください。各大会でハンググライディングシリーズの現地登録も受け付けています。

当委員会の情報はホームページでお知らせしています。また、事務局にメールをくだされば競技委員会インフォメーションをお送りします。

HG競技委員会事務局

E-mail:haku@effect-jp.net

<http://jhf.skysports.or.jp/HG/>

[記:日下部はく委員長]

## パラグライディング競技委員会

ポルトガルで世界選手権が始まりました。この原稿を書いている時点では、2日続けてのキャンセル。日本チームには是非とも頑張っていたいだきたいと思っております。(JHFレポートが出る頃には結果も出ていますが.....)

日本に目を向けると、秋の大会シーズンが始まるようとしています。今年の日本選手権は長野県白馬村での開催です。

委員会として大きな動きはありません。細かなルール改定には動いていますが、ルールばかり厳しくしてもという思いも感じます。筑波でのワールドカップ

で、もっともっと厳しくという思いもありましたが、日本の気象条件を考慮すると踏み切ることができません。それよりも、どうしたら一人でも多くのパイロットに大会、競技というものに興味を持ってもらえるのかということが一番の課題であり、結論は出ずにいます。

[記:曾我部真人委員長]

## 定款検討委員会(特別委員会)

理事・監事と制度委員会のメンバー、そして一般公募の委員である古川正司さんと大内祐徳さんが加わって、定款検討委員会がスタート。7月9日に第1回の委員会を開き、以下を検討しました。

### 定款改正について

定款第13条(役員を選任)について。2項と3項を改正し、関係企業経営者の役員就任を可能にすることについて、文部科学省担当者の指導を受けながら、半年ぐらい時間をかけ、正会員にも検討してもらい、理事会・総会で審議していく。

### 総会の年1回開催について

年2回の総会開催は労力と費用が多くかかるため、議案の早期配布・電子ファイルでの配布等、正会員が検討しやすい方法を取り、年1回開催にできるようにしたい。13条改正と同様に検討・審議を進める。

フライヤー会員の居住地県連所属フライヤー会員が、住んでいる都道府県の連盟に所属することについて、定款には明記されていないが、これは規程等で運用することがよい。各県連の運営状況を調査し開示、加入推進を検討する。

### その他

役員の数、ブロック制の設置、会長、任期等については、継続して協議する。

## JHSC型式登録機

### 輸入パラグライダー

2003年5月14日新規登録

PI-869 APCO式KEARA XS型

P証 飛行重量64～80kg SHV PERFORMANCE

PI-870 APCO式KEARA S型

P証 飛行重量79～99kg DHV 2GH

PI-871 APCO式KEARA M型

P証 飛行重量90～115kg DHV 2GH

PI-872 APCO式KEARA L型

P証 飛行重量105～130kg DHV 2GH

2003年7月16日新規登録

PI-873 HISPO式EDEL EXCEL XS型

P証 飛行重量60～80kg DHV 3

PI-874 U-TURN式Infinity S型

NP証 飛行重量60～90kg DHV 1-2

PI-875 U-TURN式Infinity M型

NP証 飛行重量80～110kg DHV 1-2

PI-876 OZONE式VULCAN M型

P証 飛行重量80～100kg DHV 2

PI-877 OZONE式McDADDY 41型

P証 飛行重量130～200kg DHV 1-2タンデム

### プロトタイプパラグライダー

2003年7月16日登録

GinGlider式Boomerang M型プロトタイプ

搭乗者増加 宮下啓二

# @sky

空の情報いろいろありのページ、その名もアット・スカイ。

いつでも心は空の彼方というあなた、必読!

もちろん寄稿も大歓迎。

大会報告、エリア紹介、フライト自慢、名物フライヤー紹介、

JHFへの意見など、どしどし送ってください。

koho@jhf.skysports.or.jp FAX.03-5840-8312

## NEWS

スカイスポーツシンポ 気軽に参加を。

12月6日・7日の両日、東京都の日本大学理工学部(駿河台校舎)で、(社)日本航空宇宙学会主催、(財)日本航空協会共催の「スカイスポーツシンポジウム」が開催されます。このシンポジウムは、スカイスポーツの性能向上と安全性に関する学術的研究のほかに、技術的及び知識的な分野も対象とし、これまで学会の活動と縁の遠かった人たちにも親しみのある内容を盛り込んでいます。

誰でも参加できますので、お気軽にどうぞ。参加費は一般1000円、大学生500円、高校生以下は無料です。また、この機会に講演をしてみたいという方は、下記URLから登録ができます。但し申込締切りは8月22日です。詳しくは、ホームページで。

[http://www.jsass.or.jp/web/schedule/sky\\_9.htm](http://www.jsass.or.jp/web/schedule/sky_9.htm)

HG&PG ポスター 頒布します。

ハンググライディング&パラグライディングのA2版ポスターができました(写真)。バリ島のリーフを眼下にソアリングするパ



ラグライダーと、山形県南陽スカイパーク十分一山からテイクオフしたハンググライダー(新潟県のハングパイロット、山本徹さん撮影)を配して

います。

このポスターをご希望の方に頒布します。10枚セットで2,000円(送料込み) お問合せ・お申し込みはJHF事務局まで。

眺めて楽しむだけでなく、下部の余白に文字を書いたり貼ったりして、イベントやスクールの宣伝等にも使えますよ。

JHF事務局

TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312

(電話は月～金曜日の9:30～17:30に)

E-mail:jhf@skysports.or.jp

JHFホームページ 進化中です。

JHFのホームページをご覧になったこと、ありますか。

今春リニューアルして、グッと見やすくなりました。更新もまめにしています。今どんどん更新しているのは、エリア情報。全国の教員を中心に調査を行い、最新のエリア案内を掲載しています。全国を飛び歩くのは無理でも、インターネットのエリア訪問なら、すぐできますね。

都道府県連盟のホームページにもリンクしていますので、ローカル情報も手に入ります(トップページの「都道府県連」をクリック)。次の休みは遠くに飛びに行きたいな...というあなた、ぜひご覧ください。

英語版ホームページもいよいよスタートします。これは、海外の人や日本に住む外国の人のためのページで、日本で飛ぶための予備知識やエリア情報が主です。観光案内サイトにもリンクしていて、日本人が見ても楽しめます(英語ですが)。

JHF広報出版部は、近い将来、ハングバージョンも立ち上げたいと、張り切っています。翻訳ボランティア募集中!

JHFホームページ

<http://jhf.skysports.or.jp/>

セーフティノーツ フライヤー必見!

JHFのホームページに、安全性委員会(JHSC)セーフティノーツを掲載しています。

セーフティノーツには、機体やハーネス等の安全にかかわる重要な情報を載せています。たとえば、某メーカーの某機種が事故を起こし、機体構造に原因があると思われる場合など、ユーザーへの注意(警告)を速やかに掲載し、事故再発防止をはかるものです。

最近では、パラグライダー用カラビナ破断事故に伴いDHVが耐空性改善通報を出し、カラビナの材質調査を行った結果、素材の欠陥もメーカー側の過失も認められなかったため、通報が解除されたこと等を伝えています。(下の記事を参照)

誰でも「安全に飛びたい」のは当たり前。飛行技術を磨き、気象等の知識をふやし、そして、JHSCセーフティノーツで機材の安全情報をチェックして、楽しいフライトを続けてください。

## JHSC セーフティノーツより

### JHSC-E0309 耐空性改善通報

Austrialpin社製造のアルミニウム製パラグライダー用オートマティックカラビナParaflyが、チェコ共和国でテイクオフ時に壊れた。このカラビナはPG飛行に2年間使用されていたもの。材質調査は、チェコ共和国で直ちに始められた。

DHVは次の予防的安全対策を決定。

Parafly(表面処理にかかわらず)の使用を調査が完了するまで禁止する。

その後、材質調査の結果、素材の欠陥もメーカー側の過失も認められなかったため、耐空性改善通報を解除。この事故は、ゲート部分がロックされないままの状態に過度の力が加わったことが破損の原因とみられる。

### JHSC-E0310 ライン交換

Ozone Glider社製ATOMの年次検査時に、スクールで過酷に使用された数機のボトムラインが、予想された残存強度より低いものが発見された。その強度は危険となるほど低くはなく、飛行中のライン破損が報告されたわけではないが、Ozone Glider社は以下のセーフティノーツを出すことを決定した。

製造番号がA[サイズ]-D-12-101からA[サイズ]-D-46-126までのATOM XS、S、MおよびLは、最初のフライトから1年あるいは飛行時間100時間になる前にボトムラインを交換しなければならない。交換用のラインセットは個人で交換することとして無償で提供される。ディーラーが交換ラインを提供できないときは輸入代理店あるいはオゾン社へ直接コンタクトを。

## スクール登録 [新規登録校・登録内容変更]

新規登録No.112 AKAIWA PARAGLIDER SCHOOL UTSUNOMIYA [PG]

<http://www.sanjuu.com/akaiwa/>

〒321-0341 栃木県宇都宮市古賀志町1796-1 TEL.028-652-5531 FAX.028-652-5532

登録No.070 つばさ倉敷パラグライダーズスクール

URL変更 <http://www.geocities.jp/mt300mn/>

メールアドレス変更 mt300mn@yahoo.co.jp

登録No.098 ジェネスパラグライダーズスクール神立校

登録取り下げ

最新情報はJHFホームページをご覧ください。



## 鳥人間コンテスト報告 伝説の琵琶湖大橋へ

去る7月26日・27日の両日、琵琶湖は彦根市にて、スカイスポーツ界夏の恒例行事、鳥人間大会が開催された。この大会を昨年に引き続き、かくれ鳥人間オタクの山本がレポートします。

いつもの年より妙に涼しかったこの大会、梅雨明け宣言も出されていない中であつたが、風は弱め。気温が低いことは人力機には有利な要因であつたため、記録が期待された。

午前6時より大会スタート。またとない好条件の中、人力機は順調に飛び始めた。

そして、6番目。東北大学Windノーツチームが安定したフライトで北西方向へと消えていった。現、最高記録エアロセプシー(23688m)と同じコースだ！ 大会会場は興奮に包まれた。無線の声だけが会場に響く中、学生記録(9761m)を超え、やがては20kmも超えてしまう。「これはひょっとして」会場に緊張が走った。

琵琶湖の北のどん詰まりにようやく着水。記録は24823m。記録更新だ！ 会場がわき上がった。しかし、ドラマはこれだけにと



東北大学Windnauts:今回最初の大飛行。出場6回目にしてチーム・エアロセプシーの記録を破り、優勝カップは白河の関を越えるかと思われたのだが...

どまらなかった。

9番目、優勝候補日大理工がフライト。今度は琵琶湖でもっとも距離が出せる南方向へと消えていった。

余裕の高度を常に維持しながらそのまま安定したフライトを続け、やがてはテレビモニターの背景に、今まで見たことのない琵琶湖大橋が見え始めた！「ほんとにあつたのかよ」このチームの一人が興奮して思わず叫んでしまった。

しかし、オフィシャルたちは慌て始めた。「橋はくぐるのか？」

大会サイドの噂ではくぐってよいとも聞いていたのだが、結局危険行為であるとの判断で橋くぐりは禁止に。

日大機Möwe20は余力を残しながらも仕方なく橋の手前に着水。記録は34654m。先ほどの東北大の記録を10km近く上回る大記録だ！

ドラマはまだまだ続く。

二度の優勝を経験する大阪府立大がフライト。迷走しながらも15299mの直線距離をフライト。



日大理工学部Möwe:人力機のドーバー海峡横断記録(ブライアン・アレン)と同じ距離を飛び、まだ余力は充分に残っていた。

最後は昨年と一昨年の二度の優勝を果たした東工大Meisterがフライト。大記録を出した日大理工と同じコースを飛び始めた。やがては、日大理工と同じように琵琶湖大橋が見えるところまで。そして、日大と同じく橋の手前に着水。記録は.....32177m。日大にわずかに及ばなかった。

これで、第27回鳥人間の総合優勝は日大に輝いた。今回の大会は学生ばかりが大活躍。いや~。なかなかどうして。最近の学生はやるではないか。

伝説の鳥人間最強チーム、エロセプシーは前回記録樹立時「自分たちの記録が塗り替えられるまでは出ない」と言っていたが、学生が3チームもその記録を破った今、来年はとうとう参加せざるを得ないのではないであろうか。

ところで、琵琶湖で最長コースを飛んでしまった今、来年はどのように飛べばよいのであろうか？ いっそ琵琶湖周回遊覧飛行でもやるしかないか？

(9月6日よみうりテレビ系で放映予定)

文:山本 貢 写真:矢ヶ崎弘志



東京工業大学Meister:飛行高度が不安定で、5回ほど着水しそうになりながらよく持ちこたえ、Möweの記録に並ぶかと思われたが、僅かに及ばなかった。

## カレンダー

場は開催地、運は連絡先です。予定は変更になる場合がありますので、お出かけの際は事前に必ずご確認ください。

第8回全日本学生PG選手権

学生のみ参加 9月9日~12日

場栃木県スカイパーク宇都宮

運村上亜希 TEL.090-2144-6987

E-mail:yiu15035@hotmail.com

2003年パラグライディング日本選手権

in白馬

Jリーグ対象 9月18日~23日

場長野県白馬村スカイステージアルプ「八方尾根スキー場」

運大会実行委員会 スポーツパル TEL&FAX.0261-72-6022

リジットハンググライダー日本選手権

in Ibaraki 2003

クラス5ランキング対象 9月19日~23日

場茨城県八郷町エアパークCoo

運大会事務局 日下部はく

TEL.090-4029-1006

E-mail:haku@effect-jp.net

22ndデサントバードマンカップ2003

クラス1&5 FAIカテゴリー2 HGシリーズ・

クラス5ランキング対象 10月3日~5日

場石川県鶴来町獅子吼エリア 運スカイ獅子吼

パラグライダーズスクール 初瀬宗子

TEL&FAX.0761-93-2320

E-mail:info@skyshishiku.jp

Japan Cupスキージャム勝山2003

Jリーグ対象 10月11日~13日

場福井県勝山市 運〒911-0000福井県勝山市170-70スキージャム勝山内

大会実行委員会 TEL.0779-87-6311

9月	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30					

10月	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

ハンググライディング日本選手権in Ashio

HGシリーズ対象 10月12日~18日

場茨城県八郷町足尾山エリア

運ハングショップNASA 中島栄一

TEL.0299-43-0893 FAX.0299-43-1853

E-mail:info@set-ibaraki.co.jp

最新情報はJHFホームページで。

# ファインダー の向こうに ③

込山 茂

どのフライトにも必ず存在することが二つあります、それはテイクオフとランディング。お題はその最初のほう、テイクオフ。今回は空中で撮影した写真ではない、テイクオフのひとつコマです。

パラグライダーの場合、グライダーを広げ、フライトスーツを着て、ヘルメットを被り、ハーネスを身に付け、グライダーのライザーを繋ぎブレークコードとAライザーを握る、というのが比較的よくある準備ではないでしょうか。準備を終えたら自分の飛び出す方向を見定め、風を待ちます。テイクオフ前の風を待つ僅かの間、綺麗にキャノピーを揚げ、スムーズに加速し、風切音の中へ飛び出していく自分をイメージします。そしていよいよテイクオフ。キャノピーが風をつかむテンションを感じ、揚力を得て足が地を離れ、景色が流れ出すこの瞬間は何度やってもワクワクする瞬間なのです。

6月の梅雨の合間、綺麗に晴れてきて夏らしい日差しがじりじりしていた日の松田エリアでの撮影です。パイロットはエリアの直ぐ近所に住んでいるクラブ員の朝戸さ



ん。「行きまーす」の声と共に颯爽とテイクオフしていった時の様子です。この日は天気は良かったのですがなかなか風が入ってくれません。テイクオフを待つ間、カメラを持つ私は厳しい日差しを避けるために頭からタオルを被っていたのを覚えています。

テイクオフでの撮影は空中での撮影と比べて自分が固定されている分は楽ですが、やはりタイミングを逃すと直ぐに被写体は目の前を通過して行ってしまいます。ランチャーから発進する松田エリアは被写体との距離が近いこともありなおさらです。あ、キャノピー立ち上がっちゃった、切れちゃうからカメラを縦位置に、なんてやっているともう後姿になってしまうのです。あら

かじめきちんと構図を決めて何処でシャッターを切るかを考えておけば良いのですが、なかなかそこまで至りません。

今日はこんなフライトをする、と目的を決めて行った時の飛びが比較的良い内容になるように、撮影プランはあらかじめ練っておかないと駄目だということですね。飛びの方はフライト歴がカバーしてくれますが、写真はまだまだです。修行、修行。

込山 茂 (こみやま しげる)

毎週末、天気さえ良ければ丹沢や松田、その他飛べるエリアに出発するパラジャンキー。コンベには出ないサンデーフライヤーだがXCフライトは100kmオーバーも記録する。飛び始めて16年以上経つ。

## 学連だよ！全員集合！！

こんにちは。今年はどんな夏を過ごしていますか？ 8月に行われた大会では満足する成績を残せたでしょうか？ 思うような成績を上げられなかったという人も、忙しくて大会に参加できなかったという人も、まだまだ大丈夫。9月、10月もイベントは盛りだくさんあります。どんどん参加して楽しんでください。

### [ 9月・10月のイベント ]

東日本HG学生選手権2003inあぶくま

9月5日～7日 仙台平エリア

第8回全日本学生PG選手権

9月9日～12日 スカイパーク宇都宮

関西学連合宿

9月16日～19日 鳥取砂丘、霊石山

東北学連合宿

10月11日～12日 十分一エリア

ブレ第9回全日本学生PG選手権

10月18日～19日 白鷹スカイパーク

新人戦2003

10月25日～26日 十分一エリア

ホームページについて

学生リーグはもう始まっちゃいましたが、今年からルールが変更されて戸惑っている人はいませんか？ 例えば、HG学生

リーグは、判定方法がGPSを使用したものに一本化されましたよね。HG学生リーグのホームページには、GPSの紹介や、新しい競技規定などがアップされて、お役立ち情報満載です！ GPSを持っている人はもちろん、「GPSを持っていないくて、これから大会に出たいけれど、どうしたらいいの？」という人は、ぜひチェックしてください。

<http://jhfskysports.or.jp/HG/Student/>

リーグの大会でも今年からはGPSを導入します。もちろん、今までのカメラでも大丈夫です。これからはGPS、カメラ、デジタルカメラ、どれでも使えるようになります。

リーグのホームページでも新しい競技規定などがアップされています。ポイントのつけ方など今年から大きく変わったところもあるのでぜひチェックしてください。

[http://saino.jp/haku/pg\\_student/](http://saino.jp/haku/pg_student/)

今年も各地区学連の紹介のコーナーをはじめます。第1回目は東北学連の紹介です。

東北学連の紹介

こんにちは！ 今回は、いよいよ実りの秋を迎えるここ東北の地から、季節関係なし！一年中熱いフライヤー達がひしめき合っている、「東北学連」の紹介をしたいと思いま

す。

東北学連は、北から弘前大学(FREE WAVE)、山形大学(YUPC)、東北大学(STOOG-E)、会津大学(会津大パラ部)の四大学と、さらに今年から加わったいわき明星大学(いわき明星大航空競技部)を合わせた五大学からなっています。飛びも呑みも決して妥協を許さない東北の血で、所狭しと東北六県を駆けずり回り、飛びまくっている仲間達です。皆本当に仲良くて、飛び以外にも、夏にはねぶた祭など各地のお祭りに乱入しに行ったりします。また、雪深い冬には蔵王と一緒にスキー合宿なんかしたりもします。とにもかくにも一年中熱きフライヤー同士楽しんでる次第です！

もちろん飛びに関してはその「熱さ」も倍増。良き呑み仲間は、空の上の良きライバルであるわけで。そんな東北学連に一度遊びに来てみては？大歓迎致しますよ～！

学連への連絡は.....

「学連に加盟したい!」や「もっと詳しく学連のことを教えてほしい!」や、その他学連への応援・苦情は下記まで。

別田義典(福井県立大学4年)

Eメール:s0012088@s.fpu.ac.jp



空のかお  
その51

麦島 新さん  
(むぎしま あらた)



麦島君は、茨城県の足尾山エリアで飛ぶハングフライヤーです。東京工業大学のハング・パラサークルへの入部を機にスカイスポーツの世界に飛び込みました。同大学の3年生です。足尾山エリアでは『ムギ』の愛称で親しまれています。「大会に参加するのは好きだけど、勝負云々よりみんなで楽しく飛ぶのが好きだな」とフライトに対する思いを語ってくれました。「大学のサークルにこだわらずにみんなで飛びを楽しもう」というコンセプトのもとに去年、『超革命的ハングフライヤー集団』という団体を作り、学生リーグの団体戦にも『超革ハン』の一員としてエントリーしているそうです。行ってみたいエリアは宮崎県の鏡山。去年行ったときに、エリアの先輩がハングで湾を横断していたのを見て、それを目標にまた行きたいそうです。麦島君はハング学生連盟の役員で、8月に足尾山エリアで行われるナサスチューデントカップの大会実行委員長をします。大会の準備は大変でしょうが頑張ってください。

連絡ノート  
JHF  
フライヤー

**制度委員・定款検討委員募集中**  
JHF常設委員会のひとつ、制度委員会の委員を募集しています。現在同委員会はたった2人で活動中。ぜひ、あなたの力を貸してください。また、新設の特別委員会、定款検討委員会(仮称)の委員も募集中です。ご連絡は事務局まで。

**エリア調査ご協力をお願い**  
JHFでは6月よりエリア調査を行っています。この調査で集まったデータはJHFのホームページで公開しています。この情報を元に、現在英語版ホームページも制作中です。ご協力をお願いします。調査項目については、JHFホームページの「エリア」をご覧ください。また、これから調査票を送られる方は、エリア名・住所等に必ずふりがなをつけてください。

**氏名・住所等が変わったら**  
お名前やご住所が変わったら、すぐ事務局にお知らせください。ご連絡がないと、JHFレポートをお届けできません。変更は

JHFホームページからでもできますので、活用してください。

**技能証申請について**  
技能証を申請する際、申請書の裏面で記入箇所を確認し、漏れのないようにご注意ください。各項目の氏名の後には、捺印もお忘れのないようにお願いします。

**フライヤー会員証が届かない場合**  
フライヤー登録の更新の際、会費を振り込んでから2週間以内にお手元に会員証が郵送されない場合は、できるだけ早く事務局にご連絡ください。

**登録更新はコンビニ送金もできます**  
フライヤー会員登録更新時の会費振り込みは、コンビニエンスストアまたは郵便局で。ただし、住所等の変更がある場合は、郵便局からお振り込みください。コンビニでは変更できません。

**レポート&ホームページにご意見を**  
JHFレポートやJHFホームページへのご意見・ご要望を事務局広報出版部に寄せてください。もちろん、JHF全体へのご意見も大歓迎です。

**JHF事務局**  
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312  
(電話は月～金曜日の9:30～17:30に)  
E-mail:jhf@skysports.or.jp  
広報E-mail:koho@jhf.skysports.or.jp

6月・7月のパイロット証取得者 (敬称略 数字は認定日)

パラグライディング			パラグライディング			パラグライディング		
6/19	6/20	6/21	6/19	6/20	6/21	7/8	7/9	7/10
6/3 山本 隆一	6/19 向段 治	6/25 島田 淳一	6/19 河野 元	6/27 佐藤 昭	7/8 島 信治	7/23 中里 努		
6/3 牧園 剛	6/19 河野 元	6/27 松井 慶太	6/19 田口 行治	6/27 森田 保則	7/8 橋本 章	7/24 近野 広行		
6/3 字引 文威	6/19 橋本 淳	6/30 長屋 強	6/19 橋本 裕徳	6/30 長屋 強	7/8 森田 保則	7/25 弘 直樹		
6/3 安田 裕徳	6/19 清水 直美	6/30 渡辺美紀子	6/3 河野 武司	6/19 清水 直美	7/8 矢口 博嗣	7/25 鈴木 崇彦		
6/3 河野 武司	6/20 吉川 朋子	6/30 国谷 栄一	6/5 長谷川よし江	6/20 吉川 朋子	7/9 中田 義雄	7/25 石川 健二		
6/5 長谷川よし江	6/20 大関 弘	6/30 松野 若菜	6/5 浦野 智嗣	6/20 大関 弘	7/9 桜木 淳	7/25 小椋 容一		
6/5 浦野 智嗣	6/20 多胡 善幸	6/30 田中 忠義	6/5 森 淳志	6/20 多胡 善幸	7/9 桜木 洋子	7/28 小林 暁		
6/5 森 淳志	6/20 井口 一富	6/30 奥村 嘉一	6/5 真野 修	6/20 井口 一富	7/11 中村 泉美	7/28 木村 直樹		
6/5 真野 修	6/24 森永 邦代	6/30 松田 光泰	6/6 加藤 正	6/24 森永 邦代	7/11 高田 喜良	7/28 畑中 茂		
6/6 加藤 正	6/24 別府 景子	6/30 入山 敏明	6/10 高橋 憲子	6/24 別府 景子	7/11 丸山 勝彦	7/30 高橋 英樹		
6/10 高橋 憲子	6/24 竹俣 宏基	6/30 石田 新太	6/10 河相 光孝	6/24 竹俣 宏基	7/11 清水 茂俊	7/30 竹中 宣紀		
6/10 河相 光孝	6/24 水野 洋子	6/30 石田久美子	6/10 加藤 貴久	6/24 水野 洋子	7/15 尾崎 梓	7/30 木下 孝一		
6/10 加藤 貴久	6/24 木村 佳代	7/2 木下 郭	6/10 鶴山 武	6/24 木村 佳代	7/15 清水 竹夫	7/30 池田 幸博		
6/10 鶴山 武	6/24 見上 光雄	7/2 黒川 紀彦	6/11 木村 利隆	6/24 見上 光雄	7/15 山崎 能啓	7/30 島 一夫		
6/11 木村 利隆	6/24 遠藤 尚	7/2 伊瀬 吉一	6/11 雪上 淳司	6/24 遠藤 尚	7/16 黒川 紀彦			
6/12 雪上 淳司	6/24 村上 修一	7/2 青山 桂子	6/12 佐藤 昭平	6/24 村上 修一	7/16 大野真木子	ハンググライディング		
6/12 佐藤 昭平	6/24 大澤 貴彦	7/2 神原 寿	6/12 岩井 慎	6/24 大澤 貴彦	7/18 有岡 秀雄	6/10 麦島 新		
6/12 岩井 慎	6/24 藤浪 淳	7/2 神谷 秀雄	6/13 黒尾 浩一	6/24 藤浪 淳	7/18 岡本 武敏	6/13 今野 政美		
6/13 黒尾 浩一	6/24 高橋 栄	7/2 島津 直悠	6/13 並木 隆	6/24 高橋 栄	7/18 永路 洋行	7/2 宮木まゆみ		
6/13 並木 隆	6/24 立石 英路	7/2 櫻井あゆみ	6/13 丸茂 重春	6/24 立石 英路	7/23 田中 昌立	7/2 後山 英俊		
6/13 丸茂 重春	6/24 高橋 秀晃	7/4 磯野和歌子	6/13 野原 紀雄	6/24 高橋 秀晃	7/23 杉村 博	7/4 太田 武弘		
6/13 野原 紀雄	6/25 吉原 祐一	7/4 磯野和歌子	6/13 神谷純一郎	6/25 吉原 祐一	7/23 広辺 康朗	7/11 丸山 岳人		
6/13 神谷純一郎	6/25 丸山 浩史	7/4 齋藤 隆夫	6/16 小坂 桂吉	6/25 丸山 浩史	7/23 高須 勝彦	7/23 山 和将		
6/16 小坂 桂吉	6/25 石黒 賢右	7/4 村田 辰樹	6/17 藤原 伸二	6/25 石黒 賢右	7/23 吉田 淳	7/25 岩崎 隆司		
6/17 藤原 伸二	6/25 田川 雄一	7/4 上浦 渉	6/17 池田 昭広	6/25 田川 雄一	7/23 宗保 裕子	7/28 鳥井 陽一		
6/17 池田 昭広	6/25 濱井 節子	7/8 下崎 康平	6/17 鍋島 正広	6/25 濱井 節子	7/23 鈴木 智香			
6/17 鍋島 正広								

7月31日までのフライヤー会員登録数

登録年数	5月31日現在の有効登録数	6月の登録数	7月の登録数	7月31日現在の有効登録数
1年		676	725	
3年		469	486	
合計	19,323	1,145	1,211	19,060

6月・7月の技能証発行数 ( )内の数字は発行数中の女性の人数です。

技能証種類	ハンググライディング			パラグライディング			
	6月の発行数	7月の発行数	7月31日までの発行数累計	技能証種類	6月の発行数	7月の発行数	7月31日までの発行数累計
A証	10(1)	10(5)	12,290	A証	107(35)	106(26)	48,621
B証	8(1)	9(4)	11,859	B証	82(17)	85(17)	43,502
C証	6(1)	12(1)	7,127	NP証	75(14)	48(7)	11,350
P証	2(0)	7(1)	5,060	P証	67(11)	55(9)	20,400
補助動力証	0	0	31	補助動力証	1(0)	0	867
XC証	2(0)	0	1,220	XC証	10(1)	19(1)	4,289
タンデム証	1(0)	1(0)	50	タンデム証	27(0)	17(1)	877
モーターパラグライディング							
				P証	3(1)	2(0)	224

編集を終えて  
パラの世界選手権が閉幕しました。皆さん本当にお疲れ様でした。徐々に興奮させていただきました。次回のブラジルではさらに上位が期待できそうですね。ハング世界選手権は開催中。がんばれ！ につぼん！ JHF広報出版部 松原正幸

JHF ホームページもご覧ください。  
<http://jhf.skysports.or.jp/>

i-MODE(NTT DoCoMo) <http://jhf.skysports.or.jp/mobil/i/index.html>  
J-SKY(J-PHONE) <http://jhf.skysports.or.jp/mobil/j/index.html>  
EZweb(au DIGITAL) <http://www.d2.dion.ne.jp/haku/jhf/ez/index.wml>

**JHFレポート9・10月号(No.179)**  
発行日 2003年8月20日 定価10円  
発行 社団法人 日本ハンググライディング連盟  
〒112-0003 東京都文京区春日2-24-11春日Shimaビル8階  
TEL.03-5840-8311 FAX.03-5840-8312  
E-mail : jhf@skysports.or.jp  
編集 JHF事務局広報出版部  
印刷 日本印刷(株)

この印刷物は再生紙を使用しています。